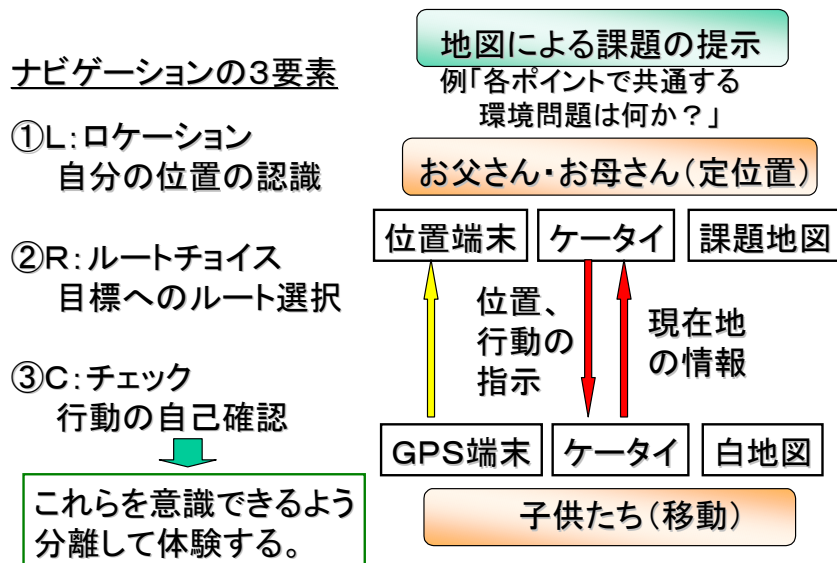


地下鉄ロゲイン 裏話

みなさん、地下鉄ロゲインの運営お疲れ様でした。どうもこうも、私の勝手な思いつきで、ご負担をかけてしまいました。が、参加者のうれしそうな表情をみてやったよかったなあ、と自己満足しています。せっかくですので、裏話です。

さて、「思いつき」とは書きましたが、この思いつきには歴史があります。そもそも、話は2001年に遡ります。当時、世界オリエンテーリング選手権大会（WOC2005）を愛・地球博とからめて、どうやって売り込んでいくか、というのが課題でした。そこで、オリエンテーリングのナビスポーツと当時の先端技術だったGPSと携帯を活用したゲームで、社会貢献するアイデアを作りました。当時のプレゼン資料の一部を示します。残念ながら、力不足で売り込みには失敗しました。が、いつか携帯はオリエンテーリングに使える、とこのころからずっと思っていました。

ナビアトラクションの提案例



で、WOC2005があつて、その後も後始末がなんやかんやあつて、最近ようやく落ち着いてきたので、おもむろに、これをやりたい、と思ったわけです。ということで、私の中ではロゲインは後付けで、先に「携帯を使ったオリエンテーリング」という発想がありました。

で、その後、ロゲインというものが流行してきたこと、写真を使って通過証明をした事例（静岡で村越さんがやってました）というのを見聞きし、2001年にはまだできなかった、携帯で写真を撮って送ることができるようになり、直感的に「これは使える」と思いました。すでに2007年ころには、今回の地下鉄ロゲインの原型は頭の中にありました。が、いろいろタイミングを探していました。まず、携帯を使う以上、トレイン全域で携帯

が通じることが必要です。作手の山ではこれは成立しません。よって都会で行う必要があります。2001年のアイデアは愛・地球博の会場をテレインとして行う、いわゆる目には見えない展示館「パビリオン」のひとつ、という位置づけでした。

都市には大きな森はありませんから、あちこちにちらばる公園をつないで行うか、公園という枠をはずして、名所めぐりにするか、ということになります。海外では市街地でやるオリエンテーリングがあります。カフェの横をオリエンティアが駆け抜けるわけで、もはや、森にこだわる必要はないと思いました。

もうひとつ、広域でやるとなると行政のバックアップといわないまでも、公認でやれた方が話はスムーズです。

そこへやってきたのが、「つるま公園100歳祭」のお話でした。おそらくこれを逃したら、自力で開催するのはかなり苦勞する、と思ったので、多少準備不足かな、とは思いましたが、名古屋市へ提案をすることにしました。2008年8月に落合さんと百歳祭の主催部署へ提案書を説明に行き、GOサイン、となりました。落合さんは、NPOへのコネの強さを買われて、百歳祭の委員の一人、というのも幸いました。このとき同時に、パークOもフラワーウオークもセットでの提案です。パークOの運営が比較的スムーズにしているのも、東山動植物園の中でフラワーウオークやれたのも、一連托生、ではあります。

で、提出した企画書には「地下鉄ロゲイン」と書いてあったのですが、提案先は鶴舞公園などを管理する土木局でなので、今回は、名称を「公園」を意味する「パークツアー」へ変更しました。

さて、運営上の課題のひとつは、携帯メールでやりとりできるか、ということです。もちろん普通にメールの送受信はできるのですが、課題は大量の写メールを効率よく処理できないとこの運営は破綻します。で、実は1年以上かけて、専用のメール処理ソフトを作成していました。といってもEXCELで作った簡単なものなんです。メールを受けると、そのタイトルからポイント番号をひろって、添付写真と正解写真を自動で表示、確認できたらワンクリックで返信メールを送る、というものです。誰でも扱え、PCをネットをつないで多人数同時に処理できる、という仕様です。

ほとんどは作ったのですが、完成度があと3歩くらい足りないのと、かつ、エントリが少なく携帯クラスが10チームを切りそう、という状況で、普通にやってもまわせる、と思ったので、このソフト作成は中断してしまいました。参考に、画面の一部を示します。

いつかまた、使うチャンスがあれば、再開したいな、とは思っています。

パークツアー通過確認パネル

メールアドレス

チーム名

ゼッケン 代表者名

通過時刻

タイトル

本文

地区 ポイント番号

前通過地区 ポイント番号


前ポイントからの経過時間

添付写真

処置方法を選択して「処置」をクリック

- 正解です。このまま通過を記録し、クイズを送信。
- 写真が添付されていません。再送信依頼をメール。
- 写真のポーズが間違っています。再送信依頼をメール。
- 写真が不鮮明です。再送信依頼をメール。
- 写真の背景が確認できません。再送信依頼をメール。
- タイトルにポイント番号がありません。再送信依頼をメール。
- ポイント番号を下記に修正して記録、クイズを送信。
- 無視して削除。(参加者以外からのメールなど)
- 以下のBOX内の文章をメールで送信。

正解写真
地区 ポイント番号



処置方法をひとつ選んでください

今回は、普通のメールソフトに一通ずつ返信を打つ、という方法です。それなりに処理できるのですが、ちょっと、よそ事をすると、受信メールがたまって、15分後くらいしか返信を打てないときもありました。10チームでこれですので、やはり大量のエントリを処理するのは無理でしょう。

逆に今回、デジカメ参加が多かったです。デジカメ写真の確認が手作業で、結構時間がかかりました。ゴール3時で表彰式4時がぎりちょんでした。実は、要項では、表彰は携帯クラスだけで、デジカメクラスは表彰式をしない、と謳ってありました。写真確認に手間取るに違いない、と思ったからです。でも今回は参加が少ないからたぶんやれるだろうと思い、デジカメクラスも表彰式をすることに変更しました。なんとか間に合いましたが、こちらもエントリが多いと間に合っていないですね。

一番最初、名古屋市へ提案した段階では、ゴール後、ミニパーティを行って、参加者同士レースを振り返り友好を深める案でした。このパーティの間に写真確認をして最後に表彰式、ということだったのですが、こちらも準備不足で見送りとなりました。浩養園でビールのみながらの表彰式やりたかったですね。単に大会やるだけでなく、どれだけ参加者に楽しんでもらうかはイベントの重要な要素だとは思いますが、そういうことって、準備が大変で、なかなかできないです。

その後はポイントを決めて、写真とって、という準備となりました。

大変だったのは、ひとつは、詳細図の準備です。無償で配布に使える地図は著作権の関係でほとんどなく、結局、国土地理院の Web 地図のみ使えたのですが、これが使いにくく、詳細図を作るのは手間かかりましたね。どこか地図会社がバックだとやりやすかったかもしれない。もうひとつは、その印刷です。20チーム弱なので、ちょっと甘くみてましたが、印刷は結局丸1日かかりました。今思うと、携帯の地図サイトへポイント位置を送信する、という手があったかもしれません。(実際できるかは検討したことないですが)

まあ、いろいろ苦勞な点もありましたが、当日はトラブルなくスムーズに行ったのは皆さんのおかげです。参加者にも概ね好評だったようで、よかったです。